

東邦銀行

平成15年6月 発行 東邦銀行総合企画部広報室
〒960-8633 福島市大町3番25号 電話(024)523-3131(大代)

本誌は、再生紙を使用しています。

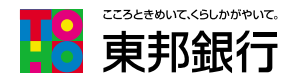


お答えします!

〈東邦〉 なるほど ガイド

東邦銀行 平成15年3月期
ミニディスクロージャー誌

2003 TOHO
NARUHODO
GUIDE



東邦銀行

ごあいさつ



東邦銀行
取締役頭取 瀬谷俊雄

地域のリーディングバンクとして、皆様の信頼にお応えします。

皆さまには、日頃より東邦銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、当行をより一層ご理解いただき、より身近にご利用いただくため、平成15年3月期決算内容をわかりやすく説明した「<東邦>なるほどガイド」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

私ども東邦銀行は、引き続き健全経営に努めるとともに、これからも皆さまとともに歩む地域のリーディングバンクとして、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

contents

東邦銀行の 考え 2	東邦銀行の 計画 3	安定経営で 業績向上を実現 5	信頼される 銀行として 6
不良債権 への取組み 7	預金・貸出金 の実績 8	商品・サービス・ 地域貢献 9	アクセス 10

東邦銀行の考え

地域金融機関としての役割・使命

「地域を見つめ、地域とともに歩み、総合的な金融サービスをもって「ふくしま」の発展とお客さまの豊かな暮らしづくりのために力を尽します。」

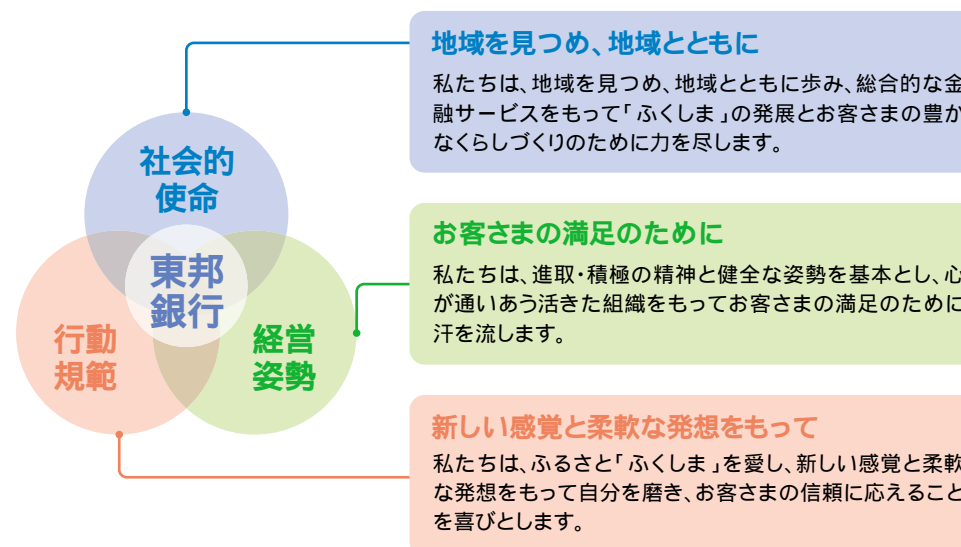
これは私どもが掲げている企業理念の一つ「社会的使命」であり、地域のお客さまとのリレーションシップ(信頼関係)を築き幅広い金融ニーズにお応えすることこそが、福島県のリーディングバンクとしての役割であり使命であると考えています。

お客さまの視点に立ち、最適かつ有益な情報をご提供する、さらには付加価値の高い金融サービスをご提供する。これらのことを通じて、東邦銀行は地域活性化、そして地域経済の発展に貢献してまいります。

東邦銀行の企業理念

当行では、平成3年11月の創立50周年時に掲げた以下の企業理念に基づいた経営を心がけております。

当行役職員一人一人がこの企業理念に沿って行動することを通じて、お客さま・地域からの信頼に応え、また、市場・株主の皆さまからも高く評価される「21世紀のベスト・リージョナルバンク(最も優れた地域金融機関)」をめざしてまいります。



東邦銀行の計画

中期経営計画の策定にあたって

当行は、平成15年4月1日を出発点として新中期経営計画「TOHO変革ビジョン2003」をスタートさせました。

この計画はこの3年間の当行の歩むべき道程を示したものであり、役職員全員が共有すべきビジョンを示し、次代の当行のあるべき姿に向かって結束して進んでいくことを目的として策定したものであります。

周知のとおり、日本経済ならびに日本の金融システムは激動の真っ只中にあります。まさに日本経済そのものが生き残りをかけた戦いに挑んでいるといっても過言ではありません。

こうした中、当行に求められるものは、地域経済発展への寄与という地域金融機関本来の使命を担い、安定した地域金融システムの担い手として自力で立ち続けることであり、そのためには、厳しい環境にも耐え得る強い経営体質を確保することが重要であると考えております。

当行は役職員が一丸となって新たな発想・視点で本中期経営計画の実行に取組み、次代に相応しい地域金融機関への「自己変革」を成し遂げてまいります。

中期経営計画の体系図



目指すべき銀行像
(長期ビジョン)

21世紀のベスト・リージョナルバンク
~お客さま・地域からの信頼に応え、市場・株主の皆さまからも高く評価される銀行~

中期経営計画

名称: TOHO変革ビジョン2003

基本的考え方

メインテーマ: 高収益体質への自己変革

地域経済発展への寄与という地域金融機関本来の使命を強く担い、お客さまからの厚い信託を勝ち得るため

お客さまが満足する金融サービスの提供を可能とし、株主の負託・市場からの期待にも応え得る安定収益を確保するため

当行は、役職員一人ひとりがこれまでの発想・慣習にとらわれない新たな発想・視点で業務に取り組み、本プログラムの実践に総力を結集し、自己変革を成し遂げます

経営目標

収益強化型ビジネスモデルの確立
資産内容の健全化促進
経営インフラの再構築

経営指標(最終年度目標)

コア実質業務純益 150億円以上
自己資本比率 9.0%以上
不良債権比率 6.0%以下
OHR 70.0%以下

経営目標の実績に向けた自己変革モデルの実行

リスク管理体制・法令遵守態勢・内部統制機能の高度化

コーポレート・ガバナンスの強化

安定経営で業績向上を実現

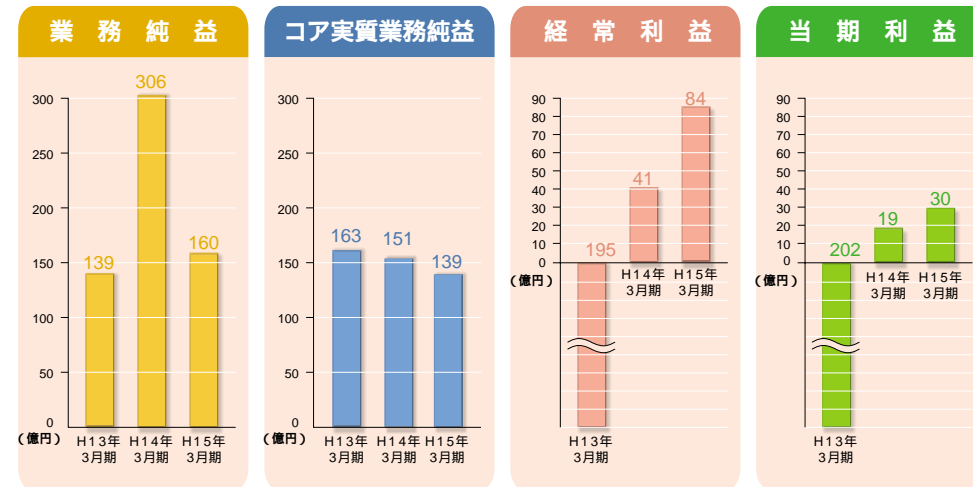
信頼される銀行として

Q1 平成15年3月期の決算はどうでしたか？

A1 経常利益、当期利益とも増益となりました。

当期も、資金需要の低迷と資金運用利回りの低下が続く厳しい収益環境の中、運用力の強化、役務取引の拡大、経費の削減を図るなど利益確保に努めました。一方、不良債権処理については、資産の健全性を確保する観点から適正な自己査定にもとづき厳格に償却・引当を実施し、また、最終処理の促進にも努めました。この結果、従来から、不良債権処理に前向きに対処してきたこともあり、処理額が前期比減少したことなどから、経常利益、当期利益とも増益となりました。

損益の状況



【業務純益・コア実質業務純益】

業務純益は、銀行本来の業務(資金の運用・調達、サービスの提供など)でどれだけ利益をあげたかをあらわす銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当します。

コア実質業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額と債券関係損益の影響額を除いた利益です。

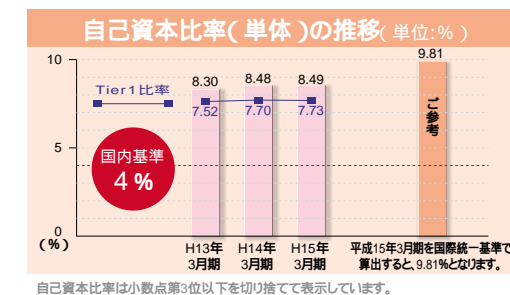
Q2 銀行の健全性をあらわす自己資本比率はどうなっていますか？

A2 8.49%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。

自己資本比率

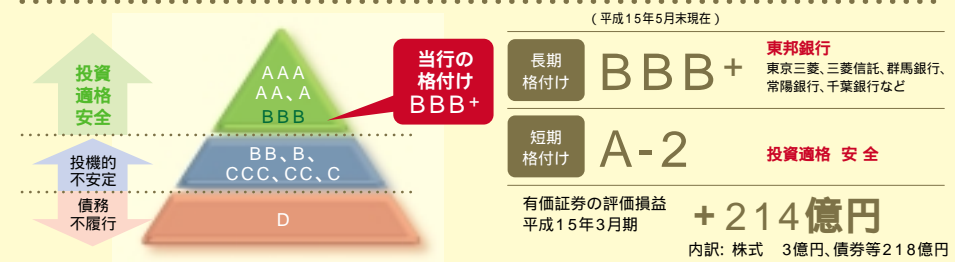
銀行経営の健全性を測る上で重要な指標となっている自己資本比率は8.49%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。

また、Tier1比率(コアの自己資本比率)においても7.73%と高い水準を確保しています。



S&P社における長期格付け

経営の健全性と安全性に関しては客観的な評価が大切です。当行は国際的な格付け機関であるスタンダード&プアーズ社の総合判断に基づいた格付けを取得し公表しています。今後も地域のみならずの頼りになる銀行をめざしてお役に立つ商品・サービスを提供してまいります。



【格付け】企業から依頼を受けた格付け機関が、客観的総合判断に基づき決定する信用度のこと。
【S&P(スタンダード&プアーズ)社】ニューヨークに本社を置き、世界に約1,000人のアナリストを有する米国最大かつ世界に信頼されている格付け機関。日本での格付け実績は300社を超え、世界での実績は数千社にのぼります。



【自己資本比率】

自己資本比率は銀行の信用度、健全性を示す重要な指標です。海外で業務を営む銀行は8%以上(国際統一基準)、当行のように国内のみで業務を営む銀行は4%以上(国内基準)を維持することが義務づけられています。

【Tier1比率】

自己資本比率における自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金の基本的項目(Tier1)と、一般貸倒引当金などの補完的項目(Tier2)とに区分されます。Tier1比率は、補完的項目(Tier2)を除くコアの自己資本比率と言えます。

不良債権への取組み

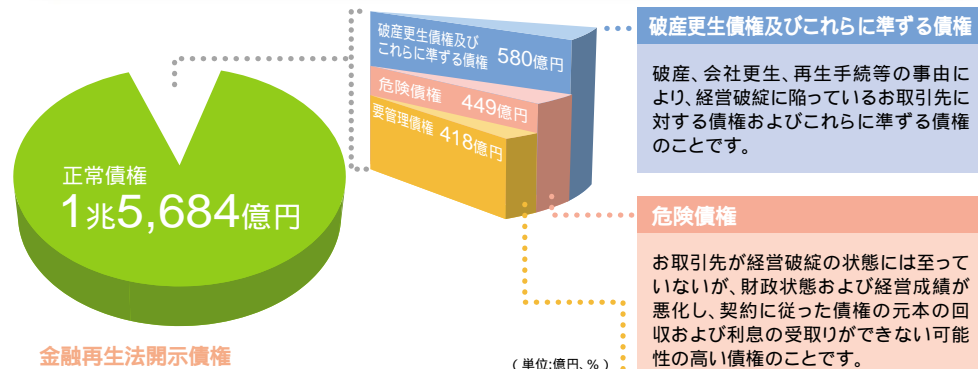
Q3 不良債権への対応はどうなっていますか？

A3 十分な引当を行い、健全性を確保しています。

金融機能再生緊急措置法に基づいた資産査定の結果、貸出金・支払承諾などの総与信のうち正常債権以外の債権は1,448億円(注)となっています。これらの債権は、必ずしもすべてが不良債権というわけではありませんが、当行では担保などにより保全を図るとともに、必要な部分については貸倒引当金により十分な引当を行い健全性を確保しています。

(注)なお、当行では部分直接償却を実施していませんが、実施した場合は1,114億円となります。

金融再生法開示債権



金融再生法開示債権

(単位:億円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	580	580	193	387	100.00
危険債権	449	368	220	148	82.15
要管理債権	418	215	131	84	51.39
合計	1,448	1,165	544	620	80.41



【金融再生法開示債権】

金融再生法(正式名称「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」)に基づく基準により、平成11年度中間期から貸出金等の分類を公表しています。対象債権は貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返です。

【部分直接償却】

「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」の担保・保証付債権について、債権額から担保の評価額および保証等により回収が可能と認められる額を差し引いた残額を、貸倒償却として債権額から直接減額することです。

預金・貸出金の実績

Q4 預金と貸出金の状況はどうでしたか？

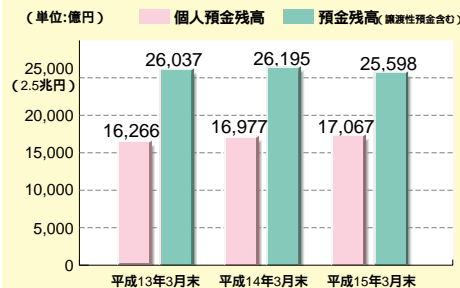
A4 預金は2兆5,598億円、貸出金は1兆6,984億円となりました。

個人預金は、お客さまの高い信頼をいただき、89億円増加し1兆7,067億円となりましたが、預金全体では597億円減少の2兆5,598億円となりました。

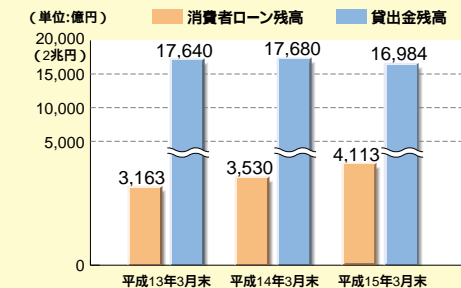
一方、多様化するお客さまの資金運用ニーズに積極的にお応えしました結果、国債および投資信託は、511億円増加し1,117億円となりました。

貸出金は、消費者ローンが住宅ローンを中心とした積極的な推進により582億円増加し4,113億円となりましたが、長引く景気低迷により企業の資金需要が低調に推移したことなどから、貸出金全体では695億円減少の1兆6,984億円となりました。(平成14年3月末対比)

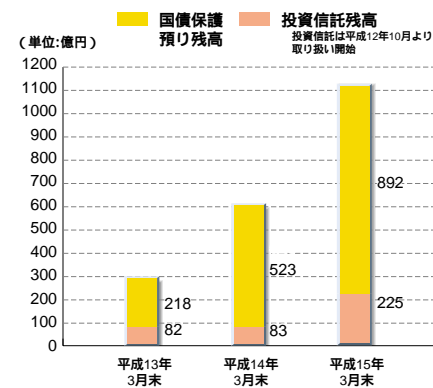
預金・個人預金残高の推移



貸出金・消費者ローン残高の推移



国債・投資信託



ペイオフについて

「ペイオフ」とは預金保険制度の中で定められた預金者保護策の一つで、金融機関が万一破綻した場合に、預金保険機構が元本1,000万円とその利息(1預金者1金融機関あたり)を限度に保険金として支払う制度です。昨年12月制度が改正され、平成17年3月末まで当座・普通・別段預金は全額保護されます。

預金保険の対象商品	平成14年4月～平成17年3月	平成17年4月～
	当座預金 普通預金 別段預金	全額保護
定期預金 定期積金 ビック・ワイド等	1,000万円を超える部分は破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われる	
外貨預金 譲渡性預金 ビット等	保険対象外 (破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われる)	

[決済用預金といします。「無利息」「要求払い」「決済サービスを提供できること」という2つの条件を満たすもの。]

商品・サービス・地域貢献

アクセス

商品・サービスの充実に取り組んでいます

資産運用のために

投資信託

お客様の資産運用ニーズにお応えできるよう、多彩なファンドをご用意しております。



ゆとりあるセカンドライフのために

個人年金保険

将来の生活のために、計画的な資産形成のお手伝いをいたします。



事業の資金作りをしっかりサポート

TOHO元気ダッシュ

最大5,000万円()まで、原則無担保、第三者保証人不要で、迅速にお応えします。

5,000万円のご融資の場合、協会付2,500万円、当行独自2,500万円の2本建てのご融資となります。

いろんなローンを一本化でラクラク返済!!

東邦 おとりまとめローン

ローンのお借換えはもちろん、物品購入や旅行、お車の購入など、さまざまな費用にご利用いただけます。

現在ご利用中のローン・クレジットなどのお借換え

物品購入・旅行・マイカー購入など

最高500万円までOK!

地域貢献にも力を入れています

財団法人 東邦銀行文化財団

財団法人東邦銀行文化財団では、文化・スポーツ団体への助成事業や機関誌の発行などをとおして福島県内の文化・スポーツ活動を幅広く支援しています。

財団法人 福島経済研究所

財団法人福島経済研究所では、県内における経済一般および諸産業の動向等に関する調査を行い、月刊誌「福島の進路」の発行やホームページなどを活用した幅広い情報提供を行っています。

貿易実務講座

県内企業の海外ビジネスの支援を目的として、福島県国際経済交流推進協議会との共催により毎年開催しています。

「ふくしま駅伝」への協賛

「ふくしま駅伝」は、福島県下90市町村のうち85市町村が参加する福島県民総ぐるみのイベントです。本イベントへの協賛を通して、福島県のスポーツ振興、陸上競技の技術力向上を支援しています。

ローンプラザ・ローンセンター

土曜日・日曜日も営業しています

取り扱い業務

住宅資金のご相談
住宅ローン・住宅金融公庫の申込受付
各種ローンのご相談・申込受付
オートローン
教育ローン
おとりまとめローン
お買物ローン
プライダルローン
メモリアルローン
カードローン など

福島

営業時間 月～金曜 10:00～18:00
土・日曜 10:00～16:00

郡山

営業時間 月～金曜 9:00～17:00
土・日曜 10:00～16:00

お気軽にご相談ください

ローンホットホー
0120-608104

お電話は各店の営業時間内に承ります。
平日15:00以降と土・日曜日は相談業務のみとなります。
祝日および12月31日～1月3日、5月3日～5月5日は休業とさせていただきます。
ただし、祝日と土・日曜日が重なった日もご利用いただけます。

会津

営業時間 月～金曜 10:00～18:00
土・日曜 10:00～16:00

いわき

営業時間 月～金曜 9:00～17:00
土・日曜 10:00～16:00

東邦便利コーナー 来店いただくことなくご利用できます

お電話でアクセス

ご利用内容	アクセス	ご利用時間
資料のご請求、商品・サービスのご照会	ハローサービスセンター トホホー ハローコール ☎0120-14-8656	月～金() 9:00～17:00
投資信託・積立投信のご照会	投資信託専用ダイヤル トホー シンディコウ ☎0120-104150	月～金() 9:00～17:00
年金保険等生命保険のご照会	保険フリーダイヤル ☎0120-104-906	月～金() 9:00～17:00
クレジットカードローン「TOHOモビット」	24時間 クイックローン ☎0120-24-919-6	24時間 (365日受付)

祝日、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日を除きます。

FAXでアクセス

ご利用内容	アクセス	ご利用時間
商品・サービスのご照会 オートローン・教育ローン等の仮申込書のご請求	FAX情報サービス (24時間) ☎162-#287-024-543-0451-01-#	24時間 (365日受付)
ローンのお申込み(仮申込み)	ローン事前予約サービス FAX 024-543-1822	24時間 (365日受付)

ローンの仮申込書は各ATMコーナーに備え付けております。(FAX、インターネットからも仮申込書は出力できます。)

ホームページアドレス

<http://www.tohobank.co.jp/>